

| | | | | | |
|---|-----------|------|-----|------|--------------|
| チャノホソガに対する B T 剤散布による製茶品質低下の軽減効果 | | | | | |
| [要約] B T 剤の散布による三角巻葉阻止率は60%程度とあまり高くないが、三角巻葉中のチャノホソガ幼虫死亡率が高くなるため、三角巻葉が混入した生葉を加工しても製茶品質(水色)の低下は小さい。 | | | | | |
| 担当部署 | 八女分場・茶チーム | | | 連絡先 | 0943-42-0292 |
| 対象作目 | 茶 | 専門項目 | 病虫害 | 成果分類 | 技術改良 |

[背景・ねらい]

B T (*Bacillus Thuringiensis*) 剤は、有機農産物の生産においても使用が認められている環境にやさしい薬剤である。しかし、効果発現が遅効的であり、本剤を散布してもチャノホソガは茶を巻葉するので、本剤の効果は低いと考えられており、あまり利用されていないのが現状である。そこで、B T 剤散布による巻葉阻止効果と製茶品質への影響を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 . B T 剤散布による三角巻葉阻止率は50 ~ 60%とあまり高くないが、巻葉内で早期に幼虫のほとんどが死亡するため、巻葉中の虫糞量は大きく減少する。また、1 回散布より2 回散布の方が虫糞量の減少は顕著である(表1、2)。
- 2 . B T 剤を散布した場合の製茶品質(水色)は、三角巻葉を重量比で5%混入してもほとんど影響がなく良好で、10%の混入でも水色がやや赤くなる程度である。一方、圃場でのB T 剤散布による三角巻葉混入率は5 ~ 6%程度であるため、製茶品質(水色)への影響は少ない(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 防除基準に登載し、化学農薬代替技術による防除法として活用できる。
- 2 . 本試験ではB T 剤としてエスマルク D F (1,000倍) を使用した。
- 3 . 効果が遅効的であるため、葉縁巻葉初期に散布する。
- 4 . 多発生が予想される場合は、3 ~ 5 日間隔での2 回散布を行う。

